

令和6年度教育・保育活動に係る保護者評価結果について

12月上旬、保護者の皆様に「教育・保育活動に係るアンケート」をお願いしたところ、126家庭（回収率85.71%）からご回答頂きました。ご協力、誠にありがとうございます。  
 この度、その集計作業が終わりましたので、結果を皆様にお知らせします。

1 項目別の評価平均と昨年度との比較

項目別の評価平均は以下のようになりました。

表1

	項 目				評価の平均 ( )内は昨年
	(評定) 4 とても思う	3 思う	2 思わない	1 まったく思わない	
1	お子さんは、幼稚園に楽しく通っていると思いますか。				3.76↗ (3.70)
2	担任は、子ども一人一人を理解するように努め、きめ細かな教育・保育を行っていると思いますか。				3.79↗ (3.73)
3	教職員はいろいろなふれ合いや保育活動の中で、子どもとの信頼関係を築き、充実したクラスづくりに努めていると思いますか。				3.80↗ (3.76)
4	日常の教育・保育、様々な活動や体験、諸行事を通して、子どもは意欲的に活動し、満足感を味わうことができる教育・保育を行っていると思いますか。				3.76→ (3.76)
5	幼稚園は、子どもたちが遊びなどを通して互いに関わり合いを持ち、協力し合える教育・保育を行っていると思いますか。				3.74↗ (3.71)
6	挨拶や人の話をよく聞くこと、集団としてのルールなど、身に付けてほしい基本的な生活習慣を培うよう努めていると思いますか。				3.75↗ (3.73)
7	幼稚園は、楽しい雰囲気の中で、子どもが健康で安全な生活が送れるよう環境づくりに努めていると思いますか。				3.76↘ (3.77)
8	教職員は、言葉遣いや身だしなみに気をつけて子どもや保護者の皆様に対応していると思いますか。				3.83↗ (3.80)
9	幼稚園は、子どものことについての保護者からの相談ごとなどに対し、誠実に対応していると思いますか。				3.74↘ (3.79)
10	お便りポスト、園便り、ホームページなどで、園の活動や子どもたちの様子について情報発信がされていると思いますか。				3.56↘ (3.63)
総 合 評 価					3.75↗ (3.72)

10項目のうち6項目で昨年の評価値を上回るなどしたものの、全体的に昨年とほぼ同様の結果となり、大きな差異は認められません。依然として高い結果を示しています。

各項目をグラフで表すと図1のようになります。

## 項目別回答状況

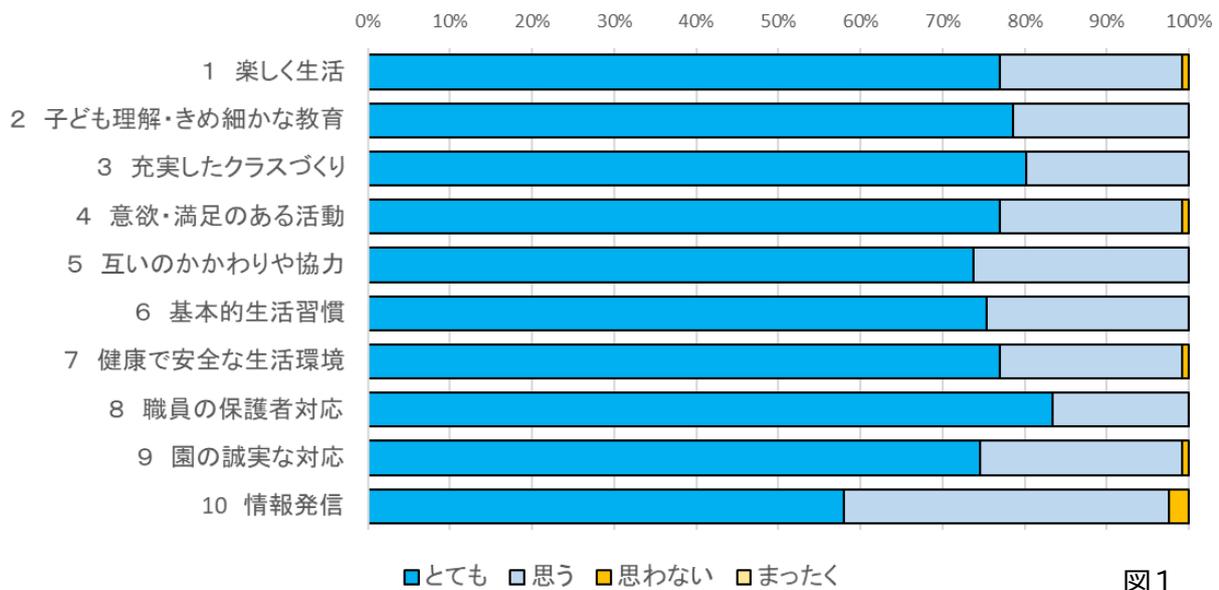


図1

どの項目についても高い評価となりました。特に「1 楽しく生活」「2 子ども理解・きめ細かな教育」「3 充実したクラスづくり」は、昨年度と比較し評価も上昇しました。

一方、「10 情報提供」については高い評価を維持しているものの、毎年のように他の項目ほどの評価は得られていません。

園からの情報発信については、週に2回の「クラスニュースきらきら」、園だより「ひまわり」の発行に加え、数年前からはホームページの毎日の更新、インスタグラム、YouTubeによる動画配信も行うなど、これまで以上にメディアコンテンツを活用し「園全体やクラスの様子」をお伝えしているところです。また、コロナ禍以来、感染症や欠席状況など園児の健康に関わる情報やその対応を、より一層正確に遅滞なくお知らせしているところです。

過去に、ホームページにお子様の「写真が少ない」「写っていない」などの理由で、情報発信が不十分だというご指摘を受けたことがあります。園からの情報発信は、個の情報（特定のお子様の情報）というより園全体の情報を発信していることをご理解いただきたく思います。

これからもあらゆる方法で情報を発信していこうと考えています。

## 2 過去の項目別比較

図2にあるように令和2年度、令和4年度、そして今年度の項目別評価を比較した結果が以下のグラフです。

令和2年度は、コロナ感染症が拡大した年でもあり、幼稚園での様々な活動が制限されました。そのような特殊な状況の中で、園では活動の目的を変えず形や内容を工夫して取り組んでまいりましたが、子どもたちに十分な教育・保育を提供できてないとして保護者からの評価は厳しいものとなりました。

令和4年度からは少しずつ保護者の理解も進み、一定程度の評価をいただいたものと考えています。

また、コロナ感染症がインフルエンザと同様の5類になってからはさらに評価も上がり、どの項目も高い評価を維持しています。

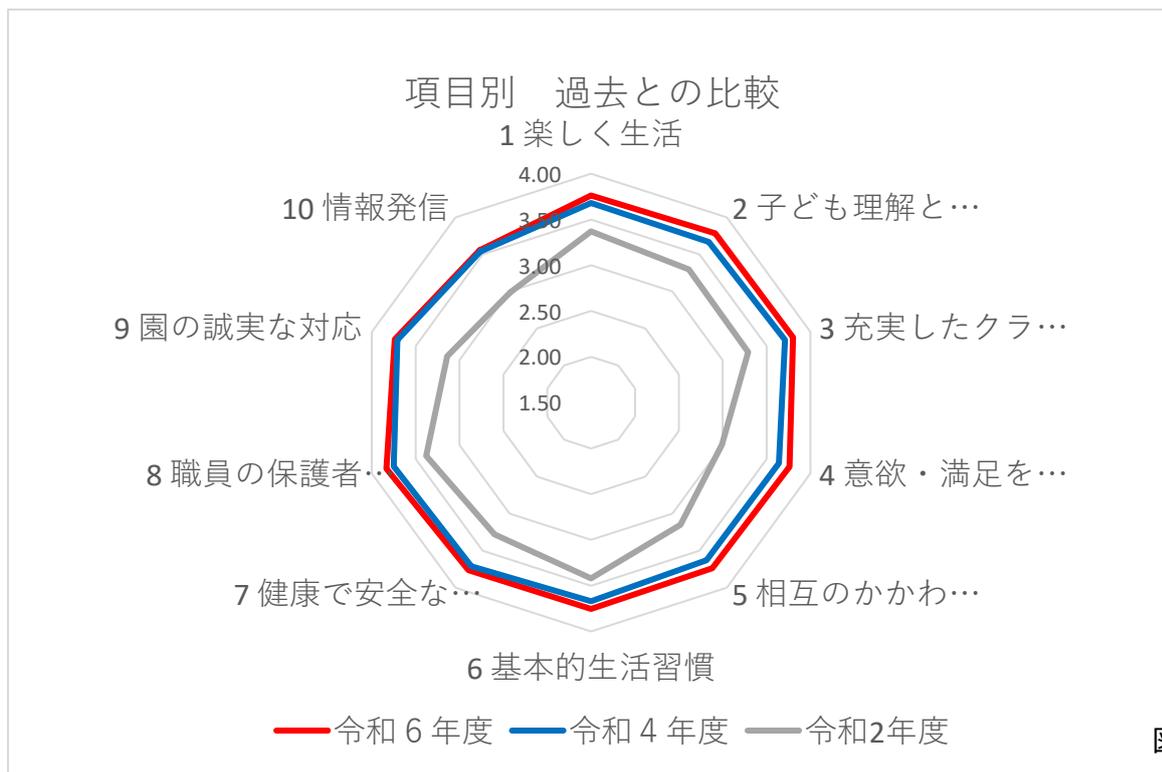


図2

### 3 園に対する肯定的評価と否定的評価の割合

以下は、「とても思う」「思う」を肯定的評価とし、「思わない」「まったく思わない」を否定的評価として、10項目全てを含めた総合的な割合を示したものです。

	肯定的評価	否定的評価
令和6年度	99.4%	0.6%
令和5年度	98.8%	1.2%
令和4年度	97.6%	2.4%

表2

この数年高い評価水準を維持しています。令和5年度からは「まったく思わない」と回答する保護者が0人になるなど、幼稚園に対する理解が高まっていることを感じています。

このように、多くの保護者にご支持をいただいているものと厚く感謝申し上げます。

### 4 同一の保護者（年長組）による総合評価の推移

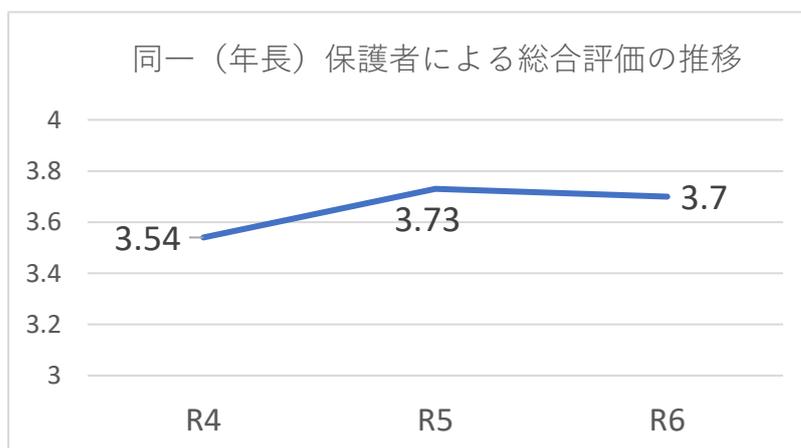


図3

図3は、現年長組保護者（同一評価者）が、前々年度からの、3回にわたる評価の変化を表したグラフです。令和4年度から5年度にかけて評価は大きく上昇し、その後は高い水準を維持しています。入園から卒園までの3年間、学年や担任、クラスメートが代わるなど、園児を取り巻く環境が年々変化しても、高い評価値を維持していることは、保護者から一定程度の理解を得られているものと考えています。

## 5 今後の課題

幼児教育の質の向上にあります。私たち教職員は今年度様々な研修会等に参加し教職員一人一人の資質や教育力の向上に努めて参りました。その学びが少しずつ当園の教育に還元されてきていますが、より一層幼児教育の質の向上に結びついていかなければと考えています。幼児教育の目的を達成するため一致団結して「ひまわりの子」の育成に取り組みます。

行事を含めた様々な活動や機会を捉えて（通して）「主体的に考え判断し、表現できる力」の基礎を育成することにあります。「活動あって学びなし」にしないためにも、今ある活動を学び（成長）の多いものに変えることこそ重要だと考えます。

私たちの真の目的は質の高い幼児教育にあります。質の高い幼児教育は、専門性、人間性、意欲を有した保育教諭から生まれます。次年度は、今の活動を工夫・改善しつつ、子どもたちの成長につながる、学びの多い活動を目指してまいります。

## 6 最後に

今年度は保護者の皆様のご理解ご協力により一定程度の成果が上げられたと感じているところです。この度いただいた皆様のご意見を参考に、子どもにとって「通いたい幼稚園」、保護者にとって「通わせたい幼稚園」、職員にとって「働きがいのある幼稚園」を目指して努力を続けてまいります。アンケート（園評価）のご協力に心から感謝申し上げます。